



シルバー
連合会

いしかわ

第37号

平成29年1月発行



「加賀鷹梯子登り」
写真提供：金沢市

目 次

シルバー連合会いしかわ 2017. 1 37号

年頭のご挨拶

会 長 須野原 雄	1
石川県知事 谷 本 正 憲	2
石川労働局長 小 奈 健 男	2

平成28年度12月末までの主要事業

シルバー人材センター理事長会議	3
第3回理事会	3
第3回事務局長会議	4
石川県・石川労働局等への要請	4
労働者派遣業務担当者研修	4
経理研修会	4
専門委員会	5
先進地視察研修	5

シルバー人材センター法制化30周年記念事業活動(普及啓発促進月間)

活動状況	6～9
------------	-----

平成28年度受託事業実施状況

〈技能講習・支援セミナー・管理選考会〉	10～11
---------------------------	-------

シニアの『健康相談室』

12

「シルバー人材センター」だより

輪島市シルバー人材センター	13
---------------------	----

表紙写真の説明・編集後記	裏表紙
--------------------	-----



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会 長 須野原 雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」では、「あらゆる場で、誰もが活躍できる、全員参加型社会の実現」に向けての方策が提言され、その「働き方改革」においては、「高齢者就業の推進」や「臨時的、短期的、軽易という業務範囲の緩和を行ったシルバー人材センターの活用」などが明記されており、シルバー人材センターの役割がますます期待されているところであります。

石川県内のシルバー事業の実績（10月末現在）は、会員数が9,761人（前年同月比99.3%）と僅かながら減少したものの、契約金額は25億9,775万円（前年同月比107.1%）と着実に増

加いたしております。これも関係各位及び会員の皆様のご努力の賜と心から感謝申し上げます。

また、石川県内の経済情勢は、北陸新幹線開業を契機に着実に回復を続けておりますが、人手不足による企業活動への影響が懸念されているところであります。これを好機ととらえ人材不足業種への対応を適切に行うことにより、シルバー事業の拡大に結び付くことを願うものであります。

連合会といたしましては、事業推進計画に基づきこれからも安全・適正就業を推進し、シルバー事業の発展と拡充を目指し、新規会員の獲得や就業先の確保・拡大に努め、高齢者が生きがいをもって働き、地域に貢献できるよう努力してまいります。

最後になりますが、関係機関の皆様には倍旧のご指導・ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

会 長 須野原 雄
公益社団法人 金沢市シルバー人材センター 理事

副 会 長 谷 充 行
公益社団法人 珠洲市シルバー人材センター 理事長

理 事 菅 野 守 二
公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター 理事長

理 事 竹 村 信 一
公益社団法人 小松市シルバー人材センター 理事長

理 事 竹 田 由 喜 夫
公益社団法人 白山市シルバー人材センター 理事長

監 事 小 山 滋
公益社団法人 野々市市シルバー人材センター 理事長

副 会 長 野 村 徳 行
公益社団法人 加賀市シルバー人材センター 理事長

理 事 久 保 雅 博
公益社団法人 七尾市シルバー人材センター 理事長

理 事 稲 葉 勇 雄
公益社団法人 中能登町シルバー人材センター 理事長

監 事 大 浦 常 子
公益社団法人 津幡町シルバー人材センター 理事長

理 事 山 本 正 廣
公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 事務局長

年頭のご挨拶



石川県知事
谷 本 正 憲

石川県の産業のさらなる成長と 地方創生に向けて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は北陸新幹線の金沢開業効果が持続した1年でした。国内外から多くの観光客が金沢はもとより、加賀、能登にもお越しいただいているほか、東北からの観光客の増加など開業前には予想していなかった効果も出ています。また、60社を超える県外企業が県内に支店・営業所を設けるなど観光面のみならず経済面でも開業効果が現れています。

本格的な人口減少時代を迎える中、今後も地域が活力を維持していくためには、新たな視点で社会減・自然減の両面から対策に取り組む必要があります。

こうした中、学生のUターン・県内就職及び移住定住の促進については、昨年4月に、移住希望者をはじめ、あらゆる求人求職のマッチングを図るため、「いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）」を開設したところです。

今後とも、技術力の高いものづくり企業の集積や質の高い生活環境など本県の移住・就職先としての魅力を積極的にPRするとともに、利用者のニーズに応じたきめ細かな相談対応に努めることにより、人口の社会減対策に積極的に取り組んでまいります。

また、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するためには、高齢者の方々が活躍できる機会を確保し、その能力を十分に生かせるようにしていくことが不可欠であり、高齢者の方々に多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの果たす役割は一層重要なものとなっております。

県といたしましても、引き続き、シルバー人材センターの取り組みを支援してまいりたいと考えております。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
小 奈 健 男

平成29年の新春をお健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は、石川労働局の業務運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の県内の雇用情勢は、有効求人倍率が1.6倍を超える高い水準で推移しており、一部に弱さがみられるものの、着実に改善が続いているところです。

こうした中、当県における高齢者の雇用を取り巻く状況は、平成28年6月1日現在、県内31人以上規模企業において、法定義務の65歳までの雇用確保措置を行っている企業の割合が99%を超えており、着実に高齢者雇用の環境整備が進んでいるところです。一方、政府が掲げる「一億総活躍社会の実現」に向けて最大のチャレンジとされる「働き方改革」において、女性や若者の活躍とともに、高齢者の就労促進が大きな柱の一つとされるなど、高齢者雇用のより一層の推進が重要となってきております。

このため今後は、高齢者が意欲と能力のある限り年齢に関わりなく生き生きと働ける生涯現役社会の実現に向けて、県内企業における法定義務を超える継続雇用の推進をはじめとした高齢者の更なる就労促進を図るとともに、地域における高齢者雇用の機運を高めていくことが必要であると考えております。

そのような中、シルバー人材センターは、地域における高齢者の就業機会の拡大を図るための重要な拠点であるとともに、多様な社会活動への参加を促進する上で、高齢会員の生活環境に合わせたボランティア活動や趣味を活かしたサークル活動など、人との交流や社会とのつながりを保つ場としても重要な役割を担っておられます。石川労働局といたしましても、貴連合会、石川県と連携を図りながら、シルバー人材センター事業を通じて多くの方が就業の機会を得て、社会の担い手となってご活躍いただけるよう、引き続き必要な支援を行っていくこととしております。

シルバー人材センター事業の更なる発展と関係各位の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成28年度12月末までの主要事業

シルバー人材センター理事長会議

11月4日(金)金沢市ものづくり会館において、平成28年度理事長会議を開催しました。

須野原雄会長あいさつの後、会員の確保・拡大に係る取組や、受注・就業機会拡大等の課題について、各理事長の皆様から事例を発表いただき意見交換を行いました。続いて、連合会から次の項目についての説明と、それに対する意

見交換が行われました。

【報告・協議事項】

- シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知・指導について
- 安全・適正就業指針について
- シルバー人材センターの業務拡大に係る適用方針について



理事長会議

第3回理事会

11月4日(金)金沢市ものづくり会館において、平成28年度第3回理事会を開催し、次のとおり審議のうえ承認されました。

【審議事項】

- 平成28年度収支補正予算
- 派遣労働会員就業規則の制定
- 一般労働者派遣事業実施規程の一部改正

【その他・報告事項】

- 平成28年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告
- 安全就業・適正就業の徹底
- 「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を活用した周知・指導
- 「臨・短・軽」の拡大措置の対応方針
- その他



第3回理事会

第3回事務局長会議

8月4日(木)石川県トラック会館において、平成28年度第3回事務局長会議を開催しました。

須野原雄会長あいさつの後、連合会から次の事項についての説明と、質疑応答が行われました。

【説明・協議事項】

○全シ協全国事務局長会議の会議事項等について

- ・全シ協事務局長会議事項（就業時間の拡大・適正就業ガイドライン等）

○派遣事業の推進について

- ・就業時間の拡大

・キャリアアップ事業について

○安全・適正就業の徹底について

・事故発生状況について

午後は石川労働局職業安定部宮崎栄一郎需給調整事業室長から、派遣法改正後の動きとキャリアアップについてのご講演をいただきました。



講演風景

石川県・石川労働局等への要請

8月23日(火)、県内全センターの総意を受け、



石川県庁にて

連合会の須野原雄会長、山本正廣事務局長等が、石川県・石川労働局・石川県

市長会・石川県町長会などを訪問し、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。

当日は普赤清幸石川県商工労働部長や、小奈健男石川労働局長他の皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換もさせていただきました。

労働者派遣業務担当者研修

9月27日(火)石川県女性センターにおいて、平成28年度労働者派遣業務担当者研修会を開催しました。県内全センター及び連合会から38名が参加しました。

石川労働局職業安定部宮崎栄一郎需給調整事業室長から、派遣法改正後の動きとキャリアアップについてご説明いただき、続いて、連合会から「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」などについて、NRⅠ社会情報システム株式会社からシステムのバージョンアップと改訂予定についての説明が行われ、その後、初めての試みとし

て、派遣担当者を経験年数別に三つのグループに分け、意見交換を行いました。

【意見交換テーマ】

- 1 失敗例から学ぶ
- 2 事務能率の改善
- 3 派遣システムの活用
- 4 会員の希望職種と派遣先のマッチング事例
- 5 派遣先との交渉
- 6 苦情処理方法について



意見交換会風景

経理研修会

11月25日(金)長寿生きがいセンターにおいて、平成28年度経理研修会を、県内全センターから



研修会風景

30名の参加により開催しました。

石川労働局職業安定部職業対策課松本壮一高

齢者対策担当官から、国庫補助金の経理事務についてご説明いただき、続いて、連合会から「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」などについての説明を行いました。

午後は、池水龍一公認会計士から、シルバー人材センターの会計についての諸課題についてご講演いただきました。

専門委員会

平成28年度の専門委員会は各委員会（普及啓発推進専門委員会、就業開拓推進専門委員会、交流研修専門委員会、安全・適正就業推進専門委員会）毎に単独での開催となりました。各委員会とも須野原雄会長の開会あいさつの後、前期の実施状況と今期の実施計画案が説明され、具体的課題について意見交換が行われました。

（安全・適正就業推進専門委員会は、6月27日に開催済み）

普及啓発推進専門委員会

開催日：平成28年9月1日(木)

場 所：金沢市ものづくり会館

○意見交換内容

- ・ラジオCMの費用対効果について
- ・タオル・メガネ拭き等の普及啓発資材選定と効果的な活用について
- ・行政や地域団体とのイベント共催によるPR活動の検討について



普及啓発推進専門委員会



就業開拓推進専門委員会



交流研修専門委員会

就業開拓推進専門委員会

開催日：平成28年9月7日(水)

場 所：連合会会議室

○意見交換内容

- ・国の補助終了後の独自事業の運営について
- ・金沢市の「観光おもてなし事業」の内容について
- ・就業開拓推進員による受注活動の状況について

交流研修専門委員会

開催日：平成28年9月7日(水)

場 所：連合会会議室

○意見交換内容

- ・派遣担当者研修の方法として、グループ討議を取り入れることについて
- ・福井県高浜町シルバー人材センターへの視察研修実施について
- ・連合会開催接遇講習のDVD作成について

先進地視察研修



研修風景

11月10日（木）、県内14センター及び連合会から38名が参加し「安全就業への取り組み」をテーマとした先進地視察研修を開催しました。

この研修は、9月に開催した交流研修専門委員会における提言を受けて実施したもので、福井県高浜町シルバー人材センターを訪問しまし

た。同センターは平成18年の設立から27年3月まで9年間に亘り傷害事故発生ゼロであり、その取り組みを学ぶものでした。

当日は天候に恵まれ、高浜町シルバー人材センターでは、二十田久治理事長、横倉寧彦事務局長、山崎孝晴安全・適正就業委員長(理事)により、センターの概要や、安全就業に対する取り組みについてご説明いただきました。

「原則4時間就業」「安全講習会の受講の義務付け」「就業内容に対する年齢制限規程の制定」など、参加者には今後の安全・適正就業推進に、たいへん参考となる貴重な体験となりました。

シルバー人材センター法制化30周年記念事業活動

平成28年度はシルバー事業が法制化されて30年の節目の年に当たることから、それを記念し10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に集中的に普及啓発活動を実施いたしました。

県内18センター及び連合会では、10月15日(土)のシルバーの日を中心に、参加会員・役職員総勢1,200人を超える規模で各地域でのボランティア活動や、センター独自でのイベント開催、ポケットティッシュ配布等の普及啓発活動を実施しました。

以下、県内センターと連合会の活動を紹介します。

普及啓発促進月間活動の状況（10月1日～31日）

石川県シルバー人材センター連合会

須野原雄会長以下職員が、金沢市武蔵町の百貨店・近江町市場前で、ポケットティッシュ・反射リボン・折り紙等配布のシルバー事業の普及啓発活動を実施



ポケットティッシュ等啓発グッズの配布

金沢市シルバー人材センター

- ・「シルバー友の会」を開催し、賛助会員・協力企業と情報交換し、シルバーの理念の理解を求めるとともに、賛助会員・協力企業と連携し事業の充実と拡大を図った。
- ・「ボランティアクリーン作戦」として会員自らが地域の歩道・河川敷・公園等の清掃活動を実施
- ・シルバー人材センター事業の理念、仕組み等を広く市民に普及する行事の一環として、市民参加型の「シルバーフェスタ2016」を開催



シルバー友の会



ボランティアクリーン作戦



シルバーフェスタ2016

小松市シルバー人材センター

- ・木場潟公園等の市内5か所で清掃ボランティア活動を実施
- ・どんどん祭り会場でポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施
- ・シルバー感謝祭を開催し、餅つきや、焼きそば、焼鳥、野菜等を販売



清掃ボランティア活動



ポケットティッシュ配布



シルバー感謝祭

七尾市シルバー人材センター

- ・「設立35周年記念事業・大ふれあい市」を開催し、劇団「晴れるや」演芸ショー、シルバーのサークル発表のほか、会員手作り品、リサイクル品を販売
- ・普及啓発ボランティア活動として、能登総合病院周辺の剪定・草刈・除草作業を実施



設立35周年記念事業・大ふれあい市



能登総合病院周辺でのボランティア活動

加賀市シルバー人材センター

- ・山代、片山津、橋立など7地区で、草刈、草むしり、蕨除去、落ち葉掃き、ゴミ拾い等のボランティア活動を実施
- ・加賀市主催の「加賀市エコフェスタinシルバー元気まつり」に併せ、野菜・加工品、餅つき、うどん等の模擬店を出店し、シルバー事業普及に取り組んだ。



落ち葉掃き、ゴミ拾い等のボランティア活動



シルバー元気まつり

白山市シルバー人材センター

- ・会員・役員等多数の参加により、本所(博労2丁目)周辺で、清掃ボランティア(除草・剪定)活動を実施し、シルバー人材センターをPR



清掃ボランティア(除草・剪定)活動

羽咋市シルバー人材センター

- ・羽咋すこやかセンター周辺で、草刈、草むしり、落ち葉拾いのボランティア活動を実施
- ・羽咋市社会福祉協議会主催のはくい福祉まつりに出店



草刈、草むしり、落ち葉拾いのボランティア活動



はくい福祉まつり

野々市市シルバー人材センター

- ・金沢市シルバー人材センターの「シルバーフェスタ2016」や、野々市市社会福祉協議会の「お年寄りと子どものフェスティバル2016」に参加し、手芸品等を販売



シルバーフェスタ2016



お年寄りと子どものフェスティバル2016

珠洲市シルバー人材センター

- ・国民宿舎のとじ荘、珠洲ビーチホテル、健康増進センター、大谷道路周辺で、除草・清掃ボランティア活動を実施
- ・珠洲農林漁業まつり会場で、ポケットティッシュ・チラシ配布の普及啓発活動を実施
- ・珠洲市役所前で、剪定・雪吊りボランティア活動を実施



除草・清掃ボランティア



ポケットティッシュ・チラシ配布



剪定・雪吊りボランティア活動

輪島市シルバー人材センター

- ・道の駅輪島ふらっと訪夢、道下グラウンドゴルフ場、他市内保育所等10か所で、草刈作業等のボランティア活動を実施
- ・わじま里山里海まつりに参加し、ポケットティッシュ・チラシ配布の普及啓発活動を実施



草刈作業等のボランティア活動



わじま里山里海まつり

能登町シルバー人材センター

- ・地区文化祭でポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施
- ・町内公立保育所（6か所）で除草ボランティア活動を実施



ポケットティッシュ配布



除草ボランティア活動

かほく市シルバー人材センター

- ・市内の主要スーパーの店頭で、普及啓発の資料やポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施
- ・かほく市生涯学習フェスティバルの展示コーナーで、シルバー人材センターの活動をパネルで紹介



普及啓発の資料やポケットティッシュ配布



生涯学習フェスティバルの展示コーナー

志賀町シルバー人材センター

町内のショッピングセンター4か所で、ポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施



ポケットティッシュ配布

津幡町シルバー人材センター

町内スーパーマーケット3か所で、ポケットティッシュ、リーフレット、折り紙等配布の普及啓発活動を実施



ポケットティッシュ、リーフレット、折り紙等配布

中能登町シルバー人材センター

町内大型スーパーにて、ポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施



ポケットティッシュ配布

能美市シルバー人材センター

- ・能美市主催のスポーツフェスティバル会場で、ポケットティッシュ配布の普及啓発活動を実施
- ・能美市シルバー人材センター感謝祭を開催し、丸いも入りお餅と豚汁の振舞い、センター栽培の丸いも・ゆず・会員栽培の野菜などを販売



ポケットティッシュ配布



能美市シルバー人材センター感謝祭

宝達志水町シルバー人材センター

宝達志水町敷浪地内、特別養護老人ホーム「ちどり園」周辺、ふれあいの丘公園周辺で、ボランティア清掃活動を実施



ボランティア清掃活動

内灘町シルバー人材センター

- ・内灘町役場周辺で除草ボランティア活動を実施
- ・高齢者スポーツ大会会場や町内スーパー4店舗前で、ポケットティッシュ・チラシ配布の普及啓発活動を実施
- ・「よってこか〜ミニバザー」を開催し、新鮮野菜や洋服等を安価で販売



除草ボランティア活動



ポケットティッシュ・チラシ配布



よってこか〜ミニバザー

穴水町シルバー人材センター

穴水町老人クラブグラウンドゴルフ大会や、穴水町社会福祉大会で、参加者にポケットティッシュ等配布の普及啓発活動を実施



ポケットティッシュ等配布

平成28年度 受託事業実施状況

連合会では、国からの委託を受けて、2種類の事業を実施しています。

「シニアワークプログラム地域事業（SP事業）」では、55歳以上の高齢者を対象に雇用を前提とした技能講習会・就職支援セミナーを実施し、講習終了後には求人企業が参加した管理選考会（採用面接会）を実施しています。

また「高齢者活躍人材育成事業（育成事業）」では、概ね60歳以上の高齢者の活躍を推進するため、働く意欲のある高齢者の就業機会の確保を目的として、シルバー会員への就業を前提とした技能講習会・就業支援セミナー等を実施しています。

県内の有効求人倍率は、業種により偏りがあるものの全国上位にランクされる高い状況が続いています。一方、企業の継続雇用制度等もあって求職高齢者数は減少する傾向にあります。このため、受講者の確保に苦慮し、やむを得ず中止した講習もあります。

高齢者を採用する企業は増えてはいるものの、需給のバランスとしては、高齢者の雇用環境は厳しい状況が続いています。引き続き、ハローワークやセンターの他、各種団体と連携を図りながら、技能講習・支援セミナーを実施し、事業目的を果たしていきます。

技能講習地域別開催状況

平成28年12月末日現在

開催地域		事業別	受講定員 (人)	受講者数 (人)	主 な 講 習 名
金沢地域	金沢市 白山市 野々市市 内灘町 津幡町	SP	165	135	ビジネスパソコン、警備業務、労務管理補助、調剤薬局事務、ハウスクリーニング、小型車両系建設機械、マンション管理
		育成	251	246	ビジネスパソコン、造園・刈払機、フォークリフト、チェーンソー、遺跡発掘、学童保育補助者、介護補助、ハウスクリーニング
小松地域	小松市 加賀市 能美市	SP	105	76	ビジネスパソコン、介護補助、調剤薬局事務、調理アシスタント
		育成	171	148	ビジネスパソコン、造園・刈払機、フォークリフト、チェーンソー、営農アシスタント、遺跡発掘、学童保育補助者、介護補助
七尾地域	七尾市 羽咋市 かほく市 志賀町 中能登町 宝達志水町	SP	60	47	ハウスクリーニング、ビルメンテナンス、調剤薬局事務、調理アシスタント
		育成	190	240	ビジネスパソコン、造園・刈払機、営農アシスタント、チェーンソー、子育て支援、学童保育補助者、介護補助、ハウスクリーニング、小型クレーン
能登地域	輪島市 珠洲市 能登町 穴水町	SP	30	24	調理アシスタント、介護補助
		育成	120	148	ハウス管理、造園・刈払機、営農アシスタント、チェーンソー、海洋資源活用、学童保育補助者、遺跡発掘
合 計		SP	360	282	
		育成	732	782	
平成27年度		SP	330	325	
		育成	928	931	

SP：シニアワークプログラム地域事業

育成：高齢者活躍人材育成事業



遺跡発掘（金沢市）



小型クレーン（かほく市）



造園（珠洲市）

支援セミナー地域別開催状況

平成28年12月末現在

開催地域	実施回数 (回)	受講者数 (人)	内 容
金 沢 地 域	27	349	マナー、公的年金の仕組み、健康管理、インターネットトラブル etc
小 松 地 域	20	218	
七 尾 地 域	19	279	
能 登 地 域	9	124	
合 計	75	970	
平成27年度	65	1,006	



マナー(羽咋市)



インターネットトラブル(金沢市)



健康管理(津幡町)

管理選考会(合同面接会)地域別開催状況

平成28年
12月末日現在

開催地域	実施回数 (回)	参加企業数 (社)	参加求職者数 (人)
金 沢 地 域	11	33	121
小 松 地 域	7	18	67
七 尾 地 域	4	14	44
能 登 地 域	2	5	19
合 計	24	70	251
平成27年度	18	63	242



全国シルバー人材センター事業協会 キャラクター
「チエブクロー」



調剤事務講習 管理選考会(小松市)



ビジネスパソコン講習 管理選考会(金沢市)

シニアの『健康相談室』 車の運転とストレス



日本医師会認定産業医
労働衛生コンサルタント

池田 裕也 先生

皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は高齢者による自動車運転事故が連日のように報道されていました。警察庁の調査で高速道路を逆走した75歳以上のドライバーの63%が、免許更新時に認知症や認知機能の低下のおそれがあると判定されたそうです。車の運転には視力、聴力の他、とっさの判断や瞬時的に対応することが出来る身体能力も必要です。高齢者の交通事故の原因を認知機能の低下だけにとらわれるのではなく、改めて高齢者の心身の特性にも目を向け日頃から健康管理をする必要があります。

視力や視野など視機能は加齢とともに低下し多くの人がそれを自覚すると言われています。一昨年、昨年と会員様が実際作業される現場を巡回させて頂きました。製品のキズ、へこみ等を最終チェックする検品も目にすることができました。時間、数量、集中力等からすれば心身への負担も無視出来ません。更に、老視では目の疲れ、ぼやけて見える、乾燥するなどの症状が継続すると眼疾患につながる事もあります。更に肩こり、腰痛、頭痛、集中力が低下する、仕事がおっくうになるなどやストレスの蓄積も起こしかねません。運転免許の更新時は遠見視力しか検査しません。一般健康診断では通常は遠見視力のみ測定しますが、場合によっては近見視力の測定も実施されます。眼の異常を自覚した方は眼科医を受診し、適正な眼鏡の使用や補正をお勧め致します。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）という病気をご存知でしょうか。睡眠中に舌根が喉を塞ぐことによって呼吸が止まったり、止まりかけたりすることによって質の良い睡眠がとれず睡眠障害を起こす疾患を言います。症状は大きないびきをかく、睡眠中に呼吸が苦しう、息が止まっていると指摘される、息が苦しくて目が覚める、朝起きた時に頭痛・頭重感がある、昼間、居眠り運転しそうになるなどです。年齢とともに

に増加する傾向にあります。チェックリストと簡易な検査を組み合わせで健康診断も可能ですが、症状のある方は専門医を受診しましょう。

さらに、交通渋滞でのイライラ、夜間の悪天候による集中力、急な飛び出しによるヒヤリハット等が車の運転によるストレスが発生、増悪することもあります。一方、日頃のストレスの蓄積もまた交通事故の原因になります。（公社）自動車技術会はストレスと運転リスクについての検査をまとめた結果、年間平均事故回数を高ストレスグループ0.69回/年、その他0.16回/年（過去1年間に交通事故を起こした人を対象）であったと報告しています。また、「日頃のストレス状態の管理は運転の安全性を高めるために重要」と結論づけています。職場で強いストレスを感じている人が6割を超えていることから、一昨年の12月より一定の規模の事業場でストレスチェック（心理的負担の程度を把握するための検査）が実施義務化されました。個人が早期のストレスに対処出来るように、職場は環境改善を進めることが目的です。この制度を利用されなくても、厚生労働省のポータルサイト「こころの耳」でセルフケアを試みて下さい。

高齢者雇用安定法の改正により事業者は、65歳までの定年年齢の引き上げ、継続雇用制度の導入、定年の定め廃止のいずれかの選択を義務づけられ、今後高齢労働者が更に増加していくことが予想されます。まずは事業場で実施される一般健康診断や住民健診等で得られる情報から健康管理を始めましょう。

本年も会員の皆様の益々のご活躍とご健康をお祈り致します。

参考) 遠見視力検査：5m先の文字等を見て
近視の有無を検査

近見視力検査：0.5m先の文字等を見て
遠視の有無を検査

シルバー人材センターだより

公益社団法人 輪島市シルバー人材センター

輪島市は伝統工芸である「輪島塗」、地域文化としての「朝市」、「白米千枚田」などの豊かな自然を有する自治体です。また観光都市としても名を知られており、昨年はNHK連続ドラマ小説「まれ」の効果により多くの観光客が訪れました。

毎年10月はシルバー普及啓発月間として位置付けられ、特に今年はシルバー事業法制化30年とも重なり、シルバー事業が世に認められ、地域社会からも理解されてきた節目の年ともなりました。



輪島市シルバー人材センターでも会員確保、就業開拓、地域社会貢献活動に向けて様々な取り組みを実施しました。10月1日(土)は市内の公共



施設10か所で当センター独自の草刈りのボランティア活動が行われ、総勢90名の会員が参加しました。

10月7日(金)
の七尾市シル
バー人材セン
ター設立35周年
記念式典にフ
リーマーケット
「よっていかん
け」が友情出店



たが、地域の皆様と触れ合うことが出来て有意義な日を過ごすことができました。

10月15日(土)に輪島市シルバー人材センター創立20周年記念式典が執り行われました。地域住民やセンター会員など多くの皆様が来場され、輪島市長をはじめ来賓の方々からの祝辞、感謝状贈呈式やアトラクションを交えて大いに盛り上がり、感謝と祝福の雰囲気包まれ、素晴らしい式典となりました。また会場内には近隣センターの

友情出店、
のと里山空
港利用促進
コーナー、
医療相談
コーナー、
介護予防
コーナーな
どのブース



にも大勢の方々が訪れ、盛況のうちに記念式典を終えることができました。

当センターが創立以来20年の節目を迎えられたことは、地域住民や関係機関のご理解とご支援、



そして歴代
役員のたゆ
まぬ努力と
会員の皆様
の大変なご
尽力による
ものであり
心より感謝
申し上げます。

10月23日(日)
に輪島市主催の
輪島里山里海祭
りに参加して、
フリーマーケッ
ト「よっていか
んけ」を出店
し、合わせて就
業開拓や会員募



集のチラシを配布してシルバー事業の普及啓発に
取り組みました。

忙しい10月でしたが、様々な事業に取り組んできた結果、新規会員数の増加という嬉しいオマケも頂きました。





記念事業活動を、6～9ページに掲載しました。

表紙写真の説明

「加賀鳶梯子登り」

八代将軍吉宗が江戸藩邸を守る大名火消を設置するよう命じたのを受けて、加賀藩が江戸上屋敷の防備のため設けたものが加賀鳶の始まりであるとされ、勇猛果敢な活動と華麗な装備で知られ、大名火消といえ加賀鳶のことを指すようになりました。現在では金沢市消防団の48分団が梯子登りを実施しており、平成21年12月に加賀鳶梯子登りは石川県無形民俗文化財に指定され、出初式・百万石まつりなどの主要行事に出演しています。

金沢市消防局

編集後記

あけましておめでとうございます。

皆様のご協力により「シルバー連合会いしかわ」第37号を発刊することができました。業務繁忙期にもかかわらず、原稿をお寄せいただいた関係機関の皆様に、心より感謝申し上げます。

今年もシルバー会員の皆様が健康で安心して就業できますよう、センターとともに、安全を第一に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <http://www.ishikawa-silver.com/>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからご覧いただけます。

